

# ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2016～2017年度 大宮西ロータリークラブ週報



創 立：1963年3月22日	会 長 新見 和男	第2507例会	2017/ 3/ 6
例会場：パレスホテル大宮	幹 事 渋谷 廣慶	発行日	2017/ 3/13
例会日：月曜日12:30～13:30	会報委員長 平岡 健太	会報当番	石丸 主憲
		カメラ担当	兒玉 龍二

## 会長あいさつ

会長 新見 和男

皆様、こんにちは。いよいよ3月に突入しましたね。3月の別名は『弥生』といい、これは、草木がいよいよ生い茂る月『本草弥や生ひ月』（きくさいやおひづき）が詰まって『やよい』となったという説が有力だそうです。



ところで、今年のさくらの開花予想は3月25日だそうです。開花時期が早いことで有名な『河津桜』は1月下旬から徐々に開花して2月中には多くの観光客が訪れるそうです。

大宮地域の開花は3月下旬になりそうですが、人々に愛されるために一生懸命咲く桜の花は、実はたった2週間余りの短い命なのです。一夜の雨、一陣の風に散ってしまう桜は人生のはかなさを痛感させるものですね。

女流作家の林 芙美子が好んで書いた言葉に『花の命は短くて苦しきことのみ多かりき』というのがあります。これは恋愛にしろ人生にしろ、その花が咲くときは短くて、しかも苦しい事ばかりだということでしょうか。そんな事を考えながら桜見物はつまらないですね。

さて、ようやく春めいた陽気になりましたが、この季節になるとたっぷり寝たのに、ひどい朝寝坊をしたり、日中に生あくびを連発・・・という経験がある人も多いのではありませんか。

『春眠暁を覚えず』という言葉があります。実はこの言葉は8世紀の中国を代表する詩人の一人、孟浩然（もうこうねん）が『春暁（しゅんぎょう）』という詩の中に書いてあった言葉で、春の眠りは心地よいので、夜明けに気づかずにぐっすり眠ってしまい、眼が覚めたら、あちらこちらで鳥の鳴き声が聞こえてきて、すっかり明るい朝になっていたという感じでしょうか。

皆様にお願いが2点ございます。新入会員のご紹介、そしてマイロータリーへの登録をどうぞ宜しくお願い致します。

## お客様ご紹介

小木曾賢己 副会長

さいたま市水道局

副理事 国際・調整担当 川島康弘 様  
同上 業務部経営企画課 園田圭佑 様  
R I 2770地区学友会 会長 服部純一 様  
(埼玉大学教育学部附属  
特別支援教育臨床研修センター専門相談員)

## お客様ご挨拶

R I 2770地区学友会

会長 服部純一 様  
(埼玉大学教育学部附属特別  
支援教育臨床研修センター  
専門相談員)



地区学友会長の服部純一です。1981-82年と古い奨学生で、アメリカノースカロライナ大学で、自閉症・発達障害の治療教育を研究し、日本の学校教育に応用する方法を広めてきました。小学校長を定年退職後、現在は日進にあり、埼玉大学教育学部附属特別支援教育臨床研究センターで専門相談員をしています。県立小児医療センターも関わっています。

是非今後、地区財団奨学生の留学後の活躍や、私の専門分野である特別支援教育への支援について、卓話等でお話しできたらと存じます。

財団奨学生をよろしくご支援ください。

## 幹事報告

幹事 渋谷廣慶

本日、第9回理事役員会が開催されました。主題の3月、4月の



## 親睦と奉仕そして人づくり

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL. 048-871-8881 FAX. 048-871-8882

E-mail: info@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



プログラムについては、この後、各部門委員長より報告があると思いますので、割愛させていただきます。

本日の幹事報告は以上です。

## 委員長報告

奉仕プロジェクト部門  
高橋秀樹 委員長



3/25(土)開催予定の鉄道博物館ナイトミュージアムへの会員の出欠並びに参加申込数の報告については2/24締切でしたが、現在約60名の方が未報告となっています。当日の担当編成が組めませんので早急にご報告いただきますようお願いいたします。

又、本番前の3/21(火)17:30～事前の下見内覧会を行いますので、当日ご出席いただく方は是非ご参加ください。お配りしている開催案内にご記入のうえ、3/10(金)迄に事務局に出欠のご報告をお願いいたします。当日ご来館いただいた児童と保護者の方に事故なく、大いに楽しんでいただく為にも是非ともご出席いただきますようお願いいたします。

親睦委員会  
藤嶋剛史 委員長



3/13は創立記念例会として、ゴダイゴ・タケカワユキヒデ氏のスペシャルゲスト卓話を行います。時間を1時間たっぷり用意し、音楽一家に生まれ、幼少期から今まで常に音楽とともに生きてきたその半生と、そこから至った音楽を通じた社会貢献活動などについてお話いただき、今後の奉仕活動の糧にさせていただきたいと思っております。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

第2770地区第4グループ  
次年度ガバナー補佐  
清水恒信



次年度ガバナー補佐を拝命頂きました清水です。次年度のIMが2月19日(月)に決める積りです。手帳の方へ書いて頂ければと存じます。

## 誕生祝 3月生まれ



親睦委員会  
藤嶋剛史 委員長

小木曾賢己(10日)、  
新藤 信夫(13日)、  
押野 一郎(15日)、  
各会員



代表して小木曾賢己会員より  
ご挨拶頂きました。



## ロータリーの友

広報・雑誌委員会  
佐藤真義 委員



【横組みから】

① ジョンFジャームR I 会長メッセージ<P3>

3月号は「多様性が私たちの強み」というメッセージです。

ロータリーが成長し続けるために、変わり続ける奉仕のニーズを受け入れる「多様性」「多種多様なあり方」の必要性をメッセージとして発信しています。

またロータリーに初めて女性会員が入会した40年前の経緯を紹介し、ロータリーが多様性を持ち奉仕してきたことが強みとして、そして「人類に奉仕するロータリー」の土台になっていると発信しています。

② 「特集」はローターアクターです。<P7~13>今と昔のローターアクター達のさまざまな取り組みを写真で紹介されています。昔の写真で私が興味を持ったのが、岐阜西ローターアクト<P13>のワープロの写真です。今では全く見る事の無いワープロ専用機やフロッピーディスクが写っており、大変懐かしく思います。しかし記事の中に「恐怖を除去するため」とありますが、「何が怖かったのか?」という興味も持ちました。

③ 「水と衛生」<P14~17>

今月は水と衛生月間ということで、勝浦RCのスリランカでの活動、松戸西RCのモンゴルでの活動が紹介されています。記事を読み日本の水道のありがたさを実感しました。

④ 心は共に<P18~22>

ロータリー平和フェローで来日したインド写真家の報告が紹介されています。<P18>に「福島復興はとて遅く」と記載されていますが、先日福島復興推進団体の方とお話ししましたが、全く同じことを話されていました。そんななかでの<P22>の3枚の写真は、希望を感じる写真で、この3枚の写真で締めくくったことが、この写真家のメッセージだと思います。

⑤ ガバナーのページ<P28>

<P28>からはガバナーのページです。

浅水ガバナーが「学友とロータリークラブの関係構築を」と題して米山奨学生、青少年交換、ロータリー平和フェローなど地区の取り組みとこれからの展望を語っています。

⑥ 「イアン・ライズリー」<P32~35>

<P32~35>はR I 会長エレクトであるイアン・ライズリー氏のインタビュー記事です。イアン・ライズリー氏はロータリー活動を「上質な楽しみ」

と感じながら行き、人類への奉仕を自信をもって活動している姿がインタビューされています。

#### 【縦組みから】

① <P4～8>は横組みの特集「SPEECH」です。

今回は倉敷市にある玉島RCの創立50周年記念講演「地方創生～ひと・まち・しごと」と題した記事です。

地域創生で大切なのは「その地域らしさ」と語られており、若い人たちにその地域の伝統・文化を継承することの重要性を金沢での経験談を交えて紹介されています。記事を読み、大宮西RCの鉄道博物館イベントに通じるものがあると感じました。

② <P9～12>は「クラブを訪ねて」、今回は延岡東RCです。

昨年50周年を迎え「伝統を受け継ぎ、百年に向けて新たなスタート！」のスローガンを掲げ、出席率も98%という高さの、延岡東RCが紹介されています。

③ <P13>からは友愛の広場です。

職業奉仕として、根西西RC倉又会員の、地元の漁業者の悩みを聞き丈夫な漁網を開発、多くの漁業者から感謝され、その結果お客様に喜ばれ商売も盛んになるという職業奉仕の実践報告や豊中千里RC五條会員のカンボジアでの医療支援活動等々が報告されています。

④ <P23>はロータリーアットワーク写真編です。「田植えから稲刈りまで体験」、「英語でクッキング」「フットサル大会」等々、全国のロータリアンが元気に活動する様子が紹介されています。

⑤<P27>のロータリーアットワーク文章編では、当地区である第2770地区主催で10月30日に浦和で行われた「ロータリーフェスタ」の記事が載っております。米山学友の民族衣装の披露・会員のバンド演奏・R財団学友のバイオリンなど多くの観客を集めました。とご紹介されています。

## 米山記念奨学生について

### 会長 新見和男

今年4月からの米山記念奨学生は、獨協大学大学院経済学研究科2年生の女性です。是非可愛がって下さい。カウンセラーは木本栄一会員です。宜しくお願い致します。

## ゲスト卓話

さいたま市水道局  
副理事国際・調整担当  
川島康弘 様



『さいたま市水道事業の現状と国際貢献』

内容：①水道局の現状

②水道局におけるラオスへの国際貢献

本市の給水人口・給水件数は、現在でも微増傾向にありますが、給水量につきましては、節水型機器の普及やライフスタイルの変化等により、2002年（平成14年）をピークに減少傾向にあり、合わせて給水収益も減少傾向となっています。

他方、高度経済成長期に拡張事業の中で整備してきた配水場や水道管路などは法定耐用年数を超え、これら水道施設の改良・更新に係る費用の確保が重要な課題となっています。

水道局では、2004年（平成16年）に水道事業ビジョン（旧地域水道ビジョン）にあたる「さいたま市水道事業長期構想」を策定し、その基本理念や基本施策に基づき、「さいたま市水道事業中期経営計画」、並びに、「さいたま市水道施設整備計画」を策定し、効率的、計画的かつ効果的な施設整備を実施しています。

次に、水道局におけるラオスへの国際貢献ですが、市場経済メカニズムの積極的な導入を通じて経済の活性化に努め、GDP成長率7.56%（2014, ラオス統計局）と高成長率



を維持しながら、2020年までの後発開発途上国（LCD）脱却を目指しているラオス国の水道分野に対して、1992年から専門家派遣、調査団員派遣、研修員受入などに加え、継続的に様々なスキームを提案、実施し、技術協力を通して、深い友好関係（ラオスへの水の架け橋）を構築してきました。

これまで積極的に取り組んできた技術協力に加えて、官民連携の下での海外での事業展開に向けた取り組みが始まり、水道局においても、ラオス水道事業体と日本の水道産業界との連携・協力の第一歩として、2011年12月末に、ラオス水道セクター向上を目的としたセミナーを開催し、市長・議長・国際化推進議員連盟の11名の立ち合いの下、両市水道分野の5年間の協力を覚書として締結し、更なる信頼関係の強化に繋がりました。

この覚書に基づき、2012年には、さいたま市水道国際展開セミナーを本市で開催し、2013年から2年間は厚労省の事業を活用し、ラオス国にて官民連携セミナーを開催し、日本の水道産業関連企業のラオス進出への支援を実施しました。

昨年末には、新たな覚書の締結を行い、著しい水需要増加への対応で、新たな浄水場建設ラッシュなど急成長を続けるラオス水道の発展に対し、今後も微力ながら水道を愛する仲間として技術協力を継続してまいります。



卓話頂きましたさいたま市水道局副理事国際・調整担当川島様(中央)、同業務部経営企画部園田様(左)、新見和男会長